2026年10月6日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,571万kW
13時30分、105,708 MW（10エリア同時刻合計）

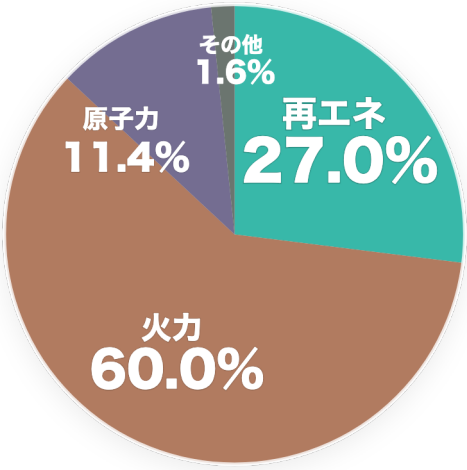
☀ 太陽光ピーク
4,268万kW
11時、42,681 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
234万kW
15時、2,339 MW

◇ 再エネ最大需要比
52.2%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
中部
81.9 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
81.6 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 43.2%

34.4 GWh

出力抑制量

2.7 GWh

最大: 中国 2.3 GWh

揚水・蓄電の充電

31.7 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:30に3,461万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで43.2%でした。
- 出力抑制は東北、中国。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**27.0%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**590 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,186 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**52.2%**	12時
出力抑制量	**2.7 GWh**	最大: 中国
揚水・蓄電の充電	**31.7 GWh**	発電構成比には含めない

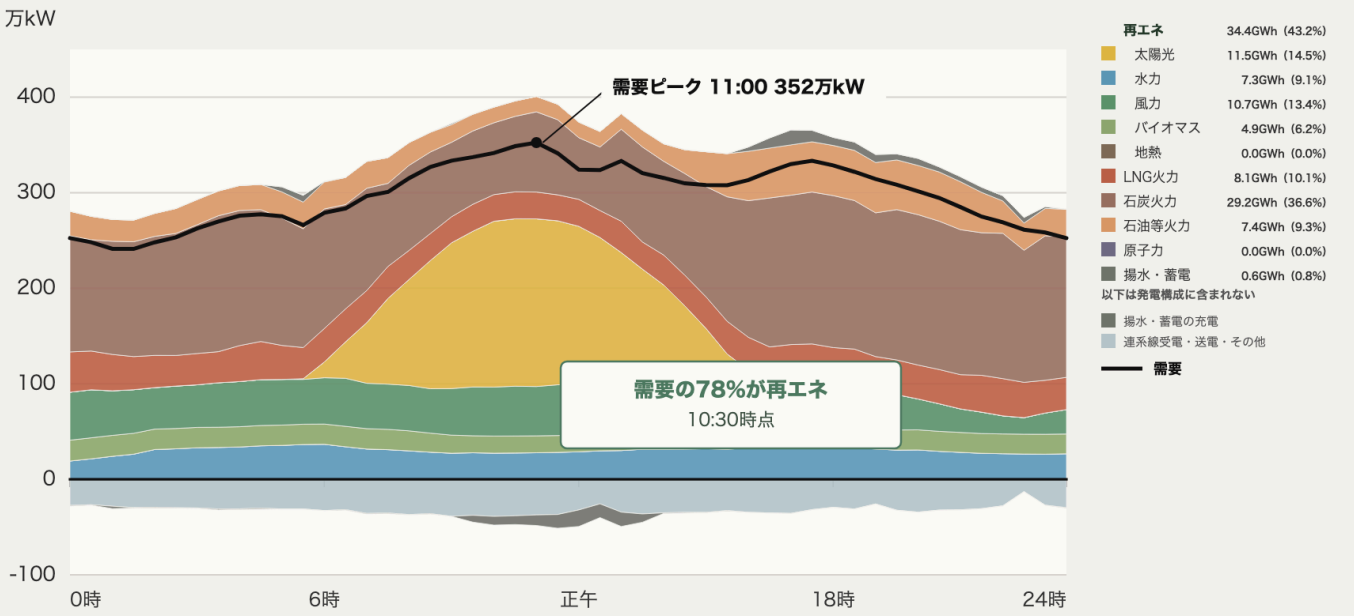
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**43.2%**	**34.4**	**0.0**	**送電 7.7**
東北	**30.7%**	**85.1**	**0.3**	**送電 81.6**
東京	**18.6%**	**117**	**0.0**	**受電 78.2**
中部	**37.7%**	**104**	**0.0**	**受電 81.9**
北陸	**25.6%**	**19.3**	**0.0**	**送電 6.7**
関西	**23.1%**	**72.7**	**0.0**	**受電 34.0**
中国	**23.2%**	**39.9**	**2.3**	**送電 24.3**
四国	**32.9%**	**31.4**	**0.0**	**送電 33.2**
九州	**34.2%**	**82.6**	**0.0**	**送電 20.5**
沖縄	**13.2%**	**3.3**	**0.0**	—

2026年10月6日の供給実績

北海道エリア

再エネ
34.4GWh
（発電電力量ベース43.2%）

北海道エリア 2026年10月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
79.7GWh

需要ピーク
11:00、352万kW

連系線・その他
7.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

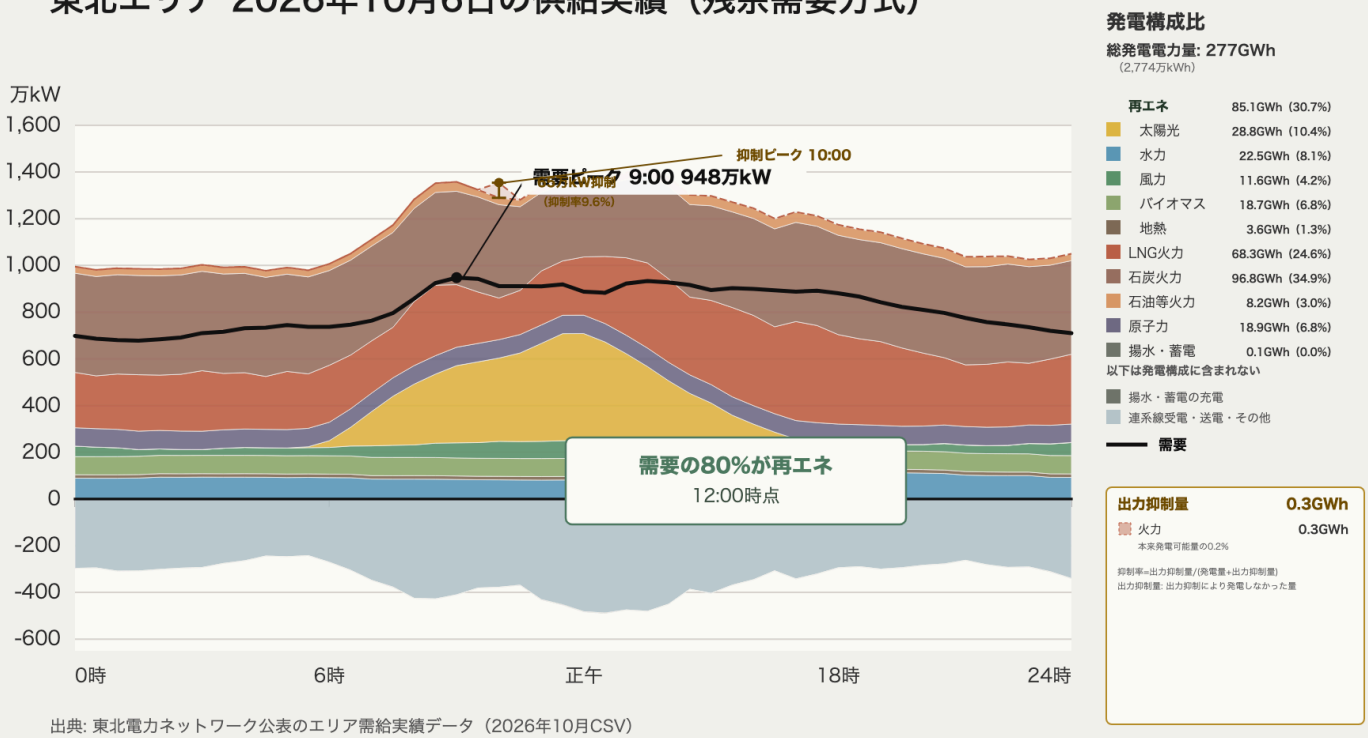
北海道は、太陽光ピーク176万kW、風力ピーク54万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.7%だった。

2026年10月6日の供給実績

東北エリア

再エネ
85.1GWh
（発電電力量ベース30.7%）

東北エリア 2026年10月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
277.4GWh

需要ピーク
9:00、948万kW

連系線・その他
81.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.3GWh

概況

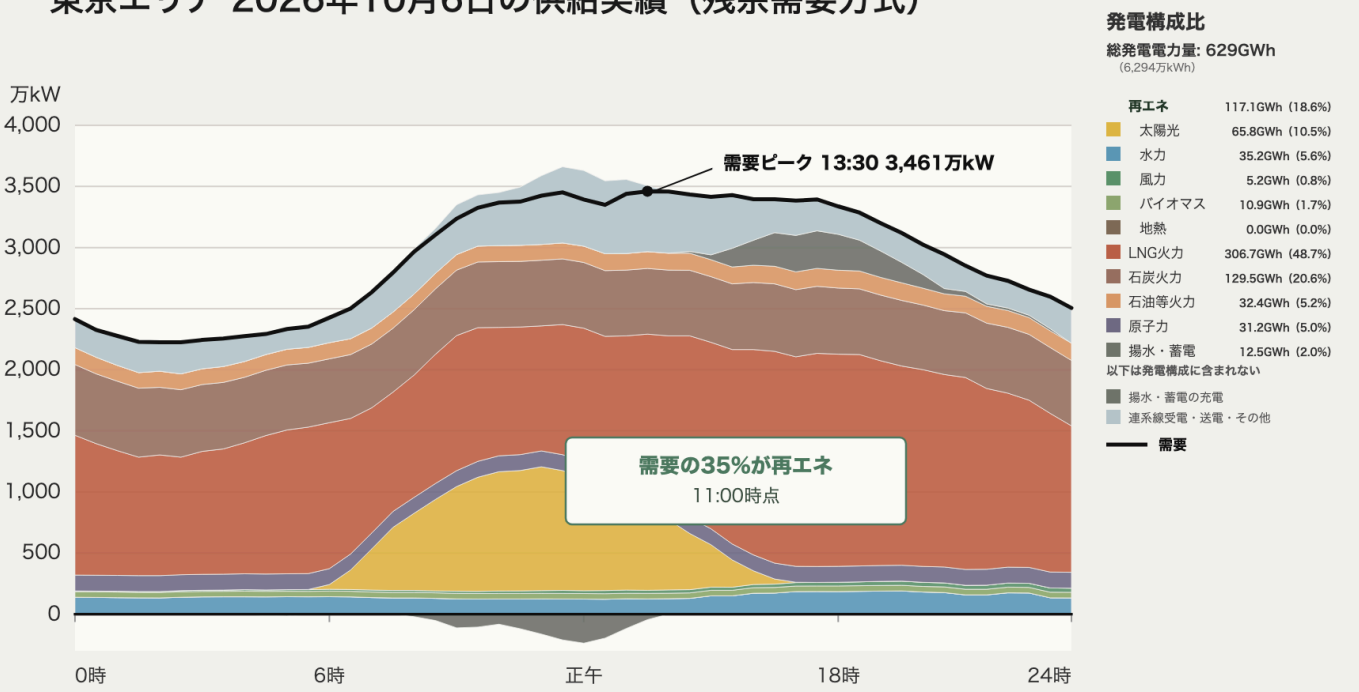
東北は、太陽光ピーク459万kW、風力ピーク79万kWで、時間別の再エネ最大需要比は79.8%だった。

2026年10月6日の供給実績

東京エリア

再エネ
117.1GWh
（発電電力量ベース18.6%）

東京エリア 2026年10月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
629.4GWh

需要ピーク
13:30、3,461万kW

連系線・その他
78.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電
7.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

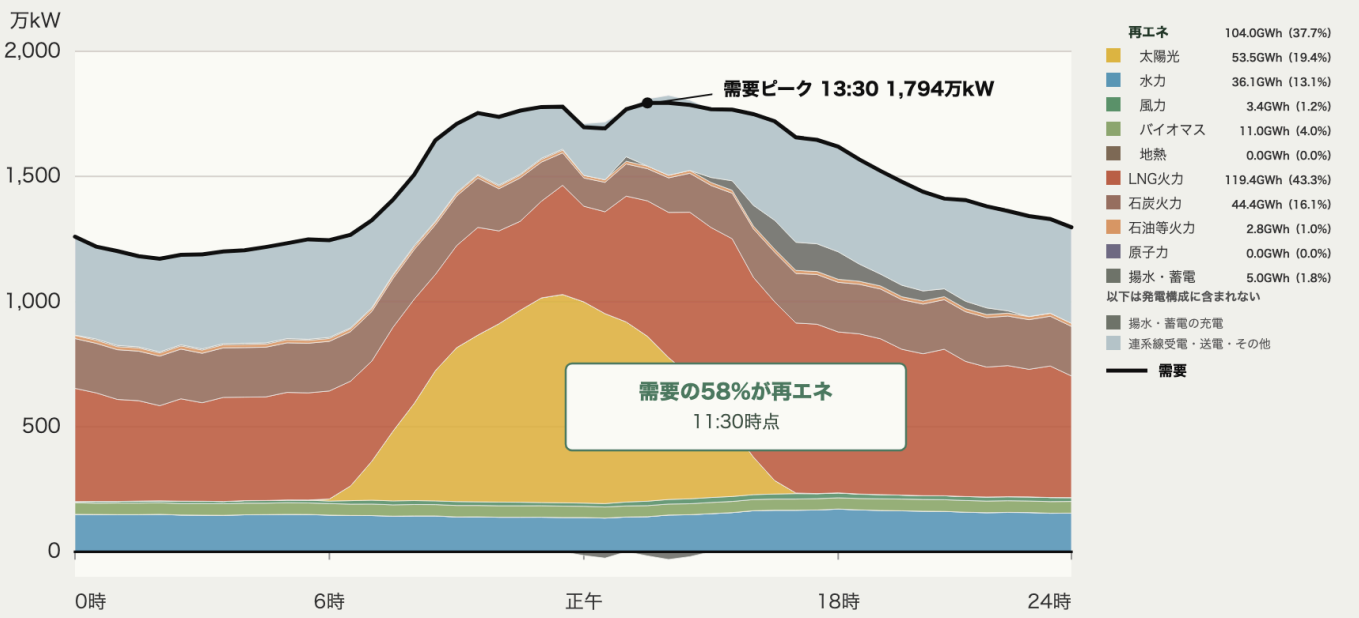
東京は、太陽光ピーク1,013万kW、風力ピーク35万kWで、時間別の再エネ最大需要比は35.2%だった。

2026年10月6日の供給実績

中部エリア

再エネ
104.0GWh
（発電電力量ベース37.7%）

中部エリア 2026年10月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
275.7GWh

需要ピーク
13:30、1,794万kW

連系線・その他
82.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
0.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

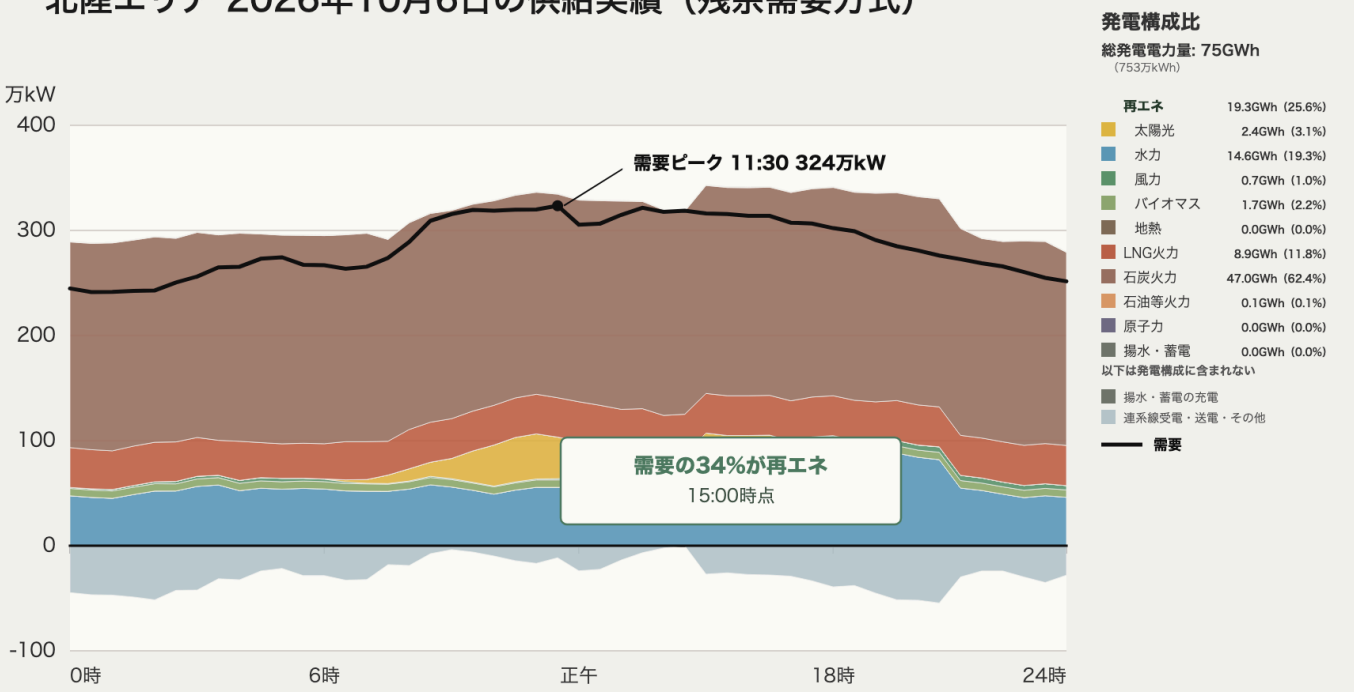
中部は、太陽光ピーク833万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.9%だった。

2026年10月6日の供給実績

北陸エリア

再エネ
19.3GWh
（発電電力量ベース25.6%）

北陸エリア 2026年10月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
75.3GWh

需要ピーク
11:30、324万kW

連系線・その他
6.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

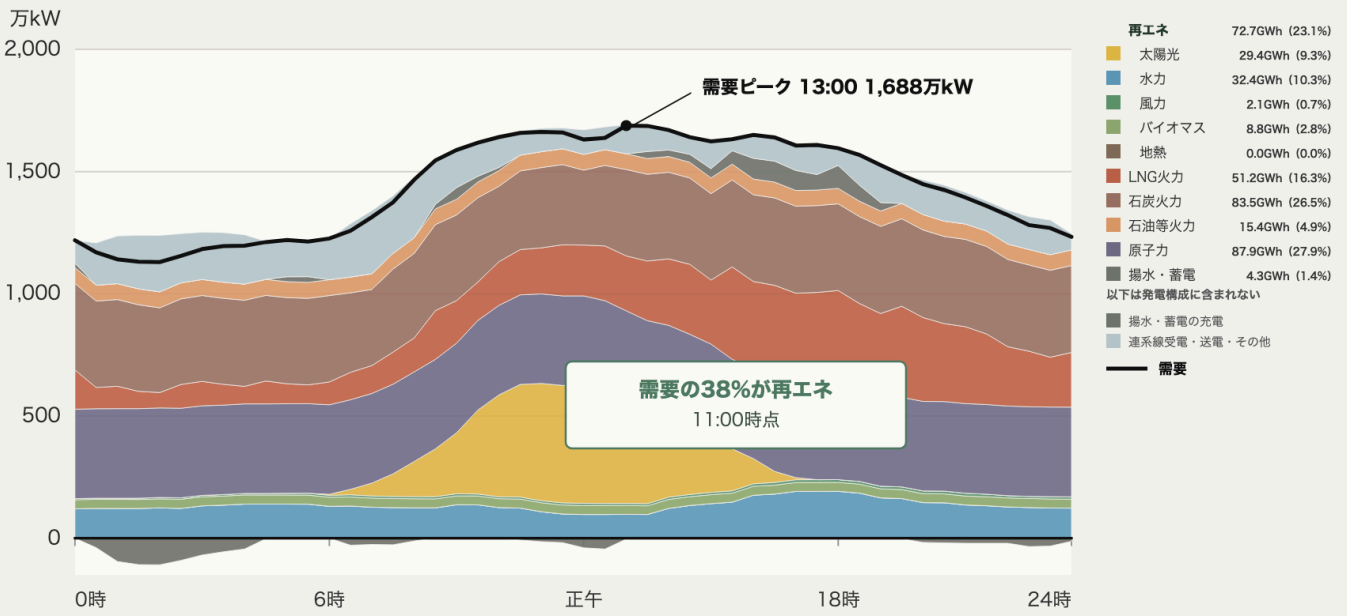
北陸は、太陽光ピーク43万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は35.1%だった。

2026年10月6日の供給実績

関西エリア

再エネ
72.7GWh
（発電電力量ベース23.1%）

関西エリア 2026年10月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
315.1GWh

需要ピーク
13:00、1,688万kW

連系線・その他
34.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
5.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

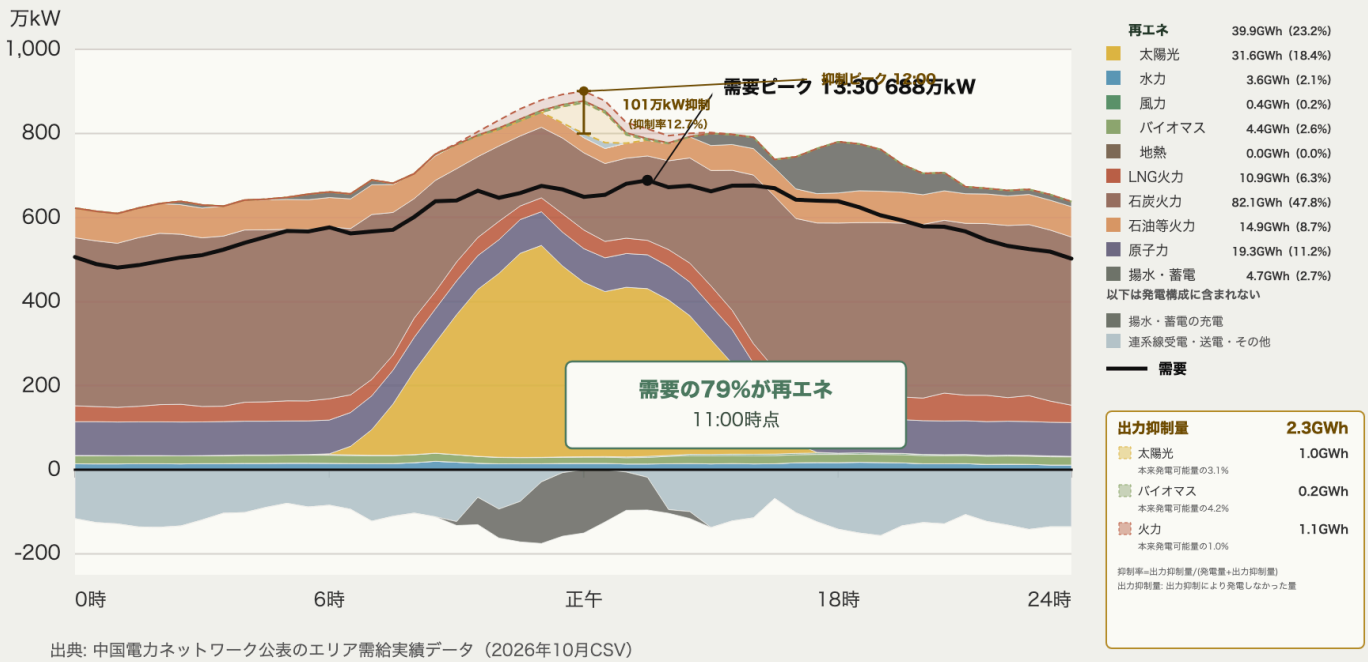
関西は、太陽光ピーク482万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は38.3%だった。

2026年10月6日の供給実績

中国エリア

再エネ
39.9GWh
（発電電力量ベース23.2%）

中国エリア 2026年10月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
171.7GWh

需要ピーク
13:30、688万kW

連系線・その他
24.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
5.0GWh

出力抑制
2.3GWh

概況

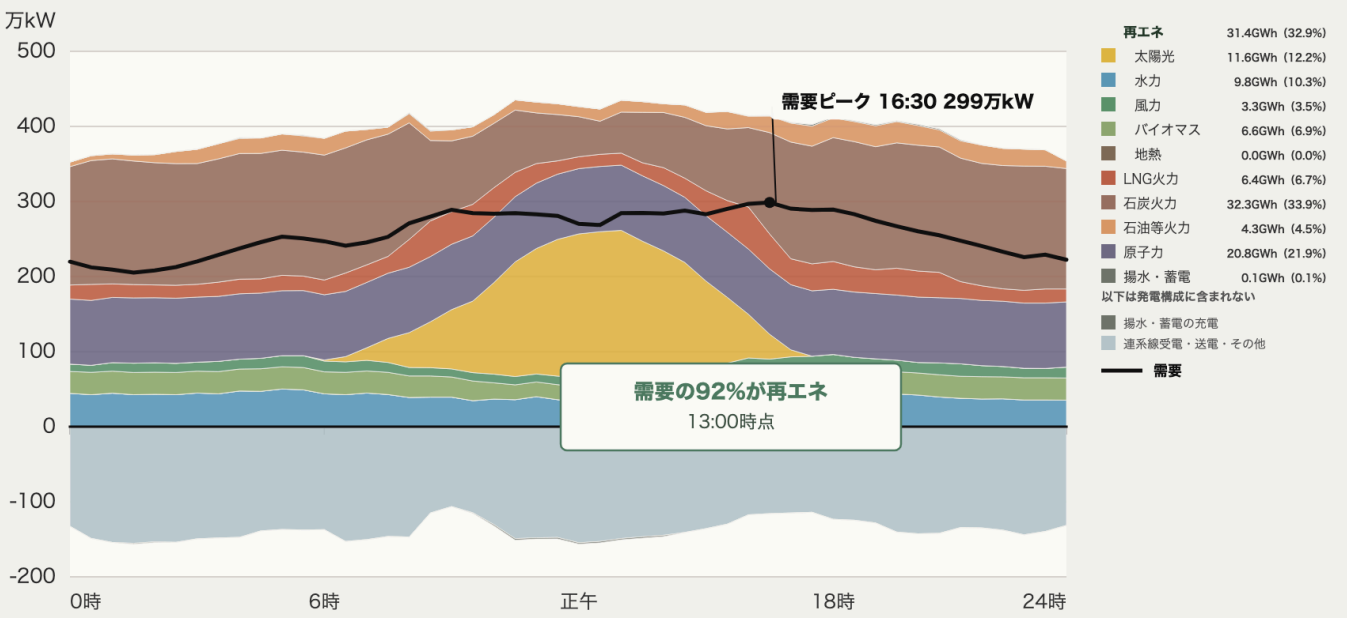
中国は、太陽光ピーク504万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は79.1%だった。

2026年10月6日の供給実績

四国エリア

再エネ
31.4GWh
（発電電力量ベース32.9%）

四国エリア 2026年10月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
95.3GWh

需要ピーク
16:30、299万kW

連系線・その他
33.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

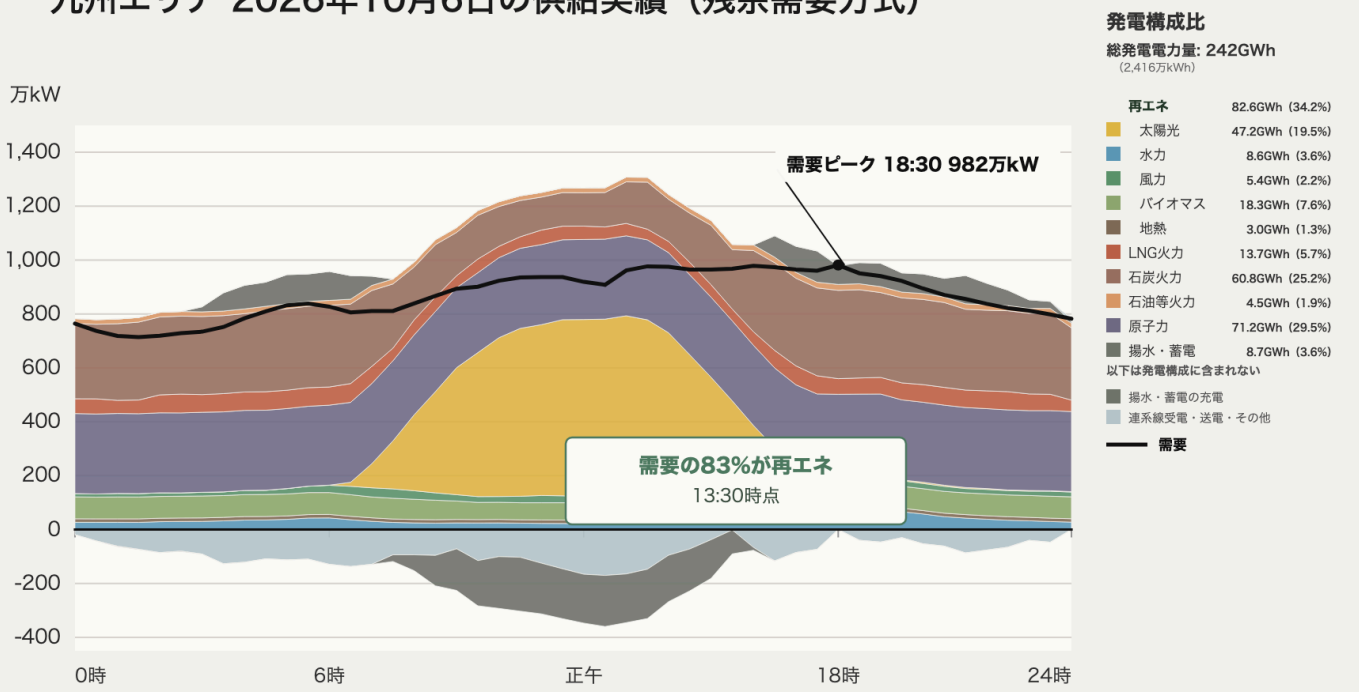
四国は、太陽光ピーク195万kW、風力ピーク19万kWで、時間別の再エネ最大需要比は96.7%だった。

2026年10月6日の供給実績

九州エリア

再エネ
82.6GWh
（発電電力量ベース34.2%）

九州エリア 2026年10月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
241.6GWh

需要ピーク
18:30、982万kW

連系線・その他
20.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
13.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

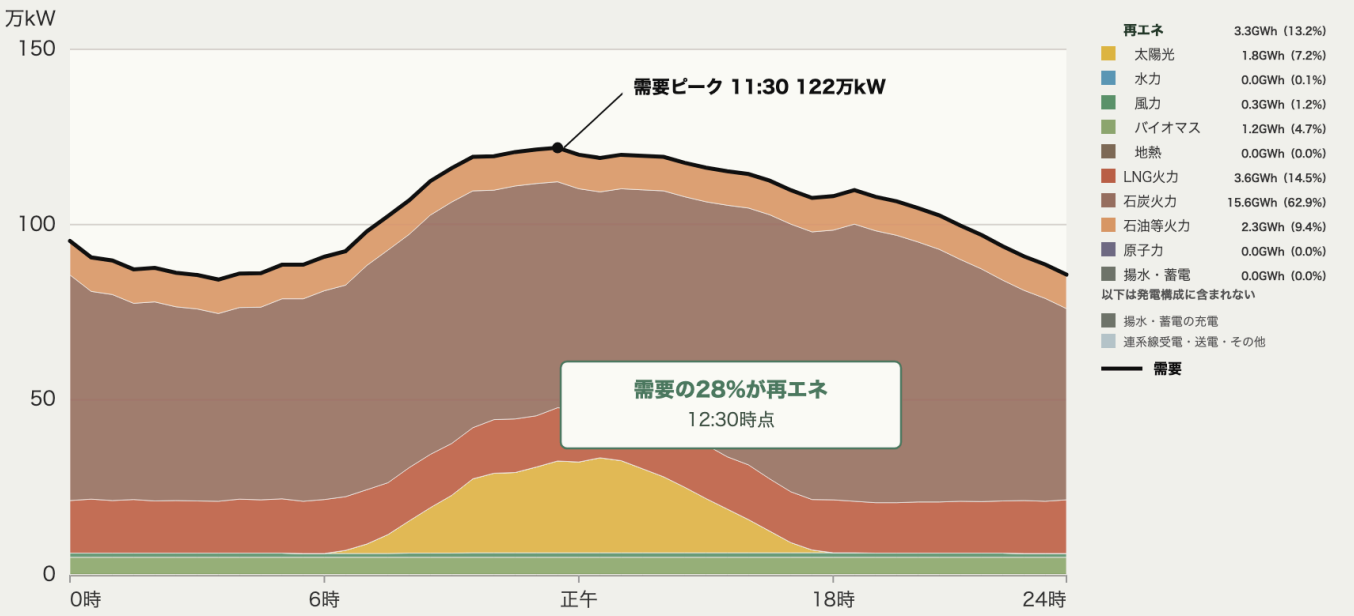
九州は、太陽光ピーク668万kW、風力ピーク35万kWで、時間別の再エネ最大需要比は86.0%だった。

2026年10月6日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.3GWh
（発電電力量ベース13.2%）

沖縄エリア 2026年10月6日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
24.8GWh

需要ピーク
11:30、122万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク27万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は28.1%だった。